

平成 25 年 7 月 16 日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 埼玉県立川越女子高等学校 佐藤ひな子

2. 講師氏名: Dr. Eva-Maria TANZER

3. 同行者氏名: 鄭善牙 (Ms. Sunna Jung)

4. 実施日時: 平成 25年 7月 16日(火) 10:45~12:35

5. 参加生徒: \_\_年生 \_\_人、 2年生 41人、 \_\_年生 \_\_人 (合計 41人)

備考: (例:理数科の生徒) SSHクラスの生徒41名

6. 講演題目: (英文) Organic Chemistry A strong of Catalysis and Total synthesis

(和文)

7. 講演概要:

Tanzer 氏ご自身のルーツとともに、なぜ科学者を目指すに至ったか、なぜ現大学で化学を研究しているのか、また、現在研究している分野(触媒、化学合成、キラル)の興味深い点について説明いただきました。化学構造の対称性によって、わかりやすい例として匂いが変わることを、香料を用いて体験させていただきました。

8. 使用言語: English

9. 講演形式:

(1) 講演時間 80 分 質疑応答時間 30 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクターを用いた講演。香料の匂いを嗅ぐ体験あり。

(3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

生徒の質問は日本語であったため、Sunna 氏の通訳が役立った。

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

研究されている分野が未履修の部分でなおかつ、理解には基礎知識が必要だと思われたため、事前にパワーポイントの一部を送っていただき、それをもとに化学教員に事前説明(30分程度)を実施してもらった。当日の理解に結びつき、有益であったと感じている。

10. 学校からの支給経費(該当がある場合):  交通費  宿泊費  謝金

11. その他特筆すべき事項:

Tanze 氏が大変情熱的で、人間的な魅力も溢れる方であったので、英語での説明すべてを理解したとは言いがたいものの、化学のおもしろさに気づき、化学の分野に進みたい、またはその志向を強めた、と感じた生徒が多く、すばらしい講演だった。なお、ドイツ人研究者が英語が堪能であることに對して、自身の語学学習意欲を高めた生徒も多かった。依頼し、実施してよかった、と強く思う行事である。